

情報活用能力育成のための指導事例【小学校 第5学年 総合的な学習の時間】

単元・題材名	生命を育む自然	指導時間（本時）	6／18
本時の目標	教科・科目	<ul style="list-style-type: none"> 様々な環境問題について一人一人が調べ、まとめ、発表する活動を通して、人類が解決しなければならない課題を理解できる。また、それらをどのように解決していくべきか、一人一人が取り組むべきこと等について考えることができる。 	
	情報教育（3観点8要素）	<p>[実践] ■課題や目的に応じた情報手段の適切な活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 身の回りにはいろいろな情報収集手段があることを知る。（モA21-2-120） いろいろな機器を利用して、情報を集める。（モA21-3-010） <p>■必要な情報の主体的な収集・判断・表現・処理・創造</p> <ul style="list-style-type: none"> 他の情報と比較しながら、必要な情報を集めることができる。（モA21-3-050） 複数のWebページを比較し、必要な情報を探し出す。（モA21-3-070） <p>[態度] ■情報モラルの必要性や情報に対する責任</p> <ul style="list-style-type: none"> 真似・コピーとオリジナル（創意・工夫）の違いを知る。（モC31c2） 著作権は法律で保護されていることを知る。（モC31c3） 	
活用する主なICT機器等	<p>■コンピュータ ■デジタルカメラ ■テレビ放送 ■インターネット</p> <p>■Web上のデジタルコンテンツ</p>		
本時の概要	環境問題について自分の調べたいテーマを決め、様々な方法（書籍、新聞、インターネットなど）で資料を集め、必要な情報を選択し、複数の資料から判断、比較し、収集させる。		
本時の流れ	主な学習活動		ICT活用の工夫及び留意点等 (○：教員の活用，◎：児童生徒の活用)
	導入	<ol style="list-style-type: none"> 1 班内で自分たちの調べるテーマについて確認する。 2 情報手段の方法（媒体）について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 各班が活用できそうな資料については、担任が事前に確認し集めておく。 インターネットだけでなく、書籍、新聞などでも調べさせるようにする。 ※ インターネットで情報収集をする場合の注意点について確認する。（情報の信ぴょう性や著作権等）
	展開	<ol style="list-style-type: none"> 3 班ごとに資料を集め、発表のための準備をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ インターネットを使う場合は、複数のサイトや書籍等を比較させる。 ※ 情報の信頼性や信ぴょう性を高める。 著作物を引用する際には、出典を明記させるなど正しく引用する方法を習得させる。
	終末	<ol style="list-style-type: none"> 4 調べて分かったことを班内で確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時の学習で分かったことを確認させ、次の時間の見通しをもたせる。 活動の様子がよかった班を紹介し、自分たちの活動を振り返らせる。
使用した教材・資料（コンテンツ）	<p>○名称・出典・内容など</p> <ul style="list-style-type: none"> インターネットの各ページ、新聞、書籍 		
ICT活用の指導上のポイント	<ul style="list-style-type: none"> 調べ学習においては、様々な方法で情報を収集し、複数の情報から比較することで、情報の信頼性や信ぴょう性を高める。 引用する際には、書籍や新聞からも正しく引用する方法を身に付けさせるなど、著作権について考えさせる活動を通して、理解させることが重要である。 		
備考	<p>○ICT活用に関して日頃から気を付けていることなど</p> <ul style="list-style-type: none"> 情報の信ぴょう性を確認するために、複数の情報と比較させるようにしている。 日頃から、著作権や情報モラルの問題も話題にするようにしている。 		

【本時の目標における情報教育（3観点8要素）の略記について】

「情報活用の実践力」→ [実践]，「情報の科学的な理解」→ [理解]，「情報社会に参画する態度」→ [態度]

「情報活用能力育成モデルカリキュラム」の対応番号→モ番号